

ツールの説明に従って、年齢調整版の様式を作成します（図）。

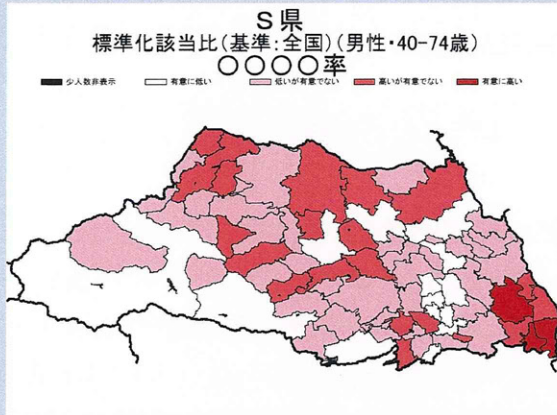
生活習慣等		40～64歳											
単位：%	総人数	該当者割合				年齢調整割合				標準化比 vs.			
		地域	地域	同規模	県	全国	地域	同規模	県	全国(基準)	同規模(=100)	県(=100)	全国(=100)
服薬_高血圧症	3984	25.7%	26.6%	25.5%	23.8%	24.0%	26.0%	24.0%	23.8%	*91.8	100.2	99.8	
服薬_糖尿病	3920	7.6%	6.7%	7.8%	6.1%	7.2%	6.5%	7.4%	6.1%	109.6	96.9	*116.6	
服薬_脂質異常症	3888	9.9%	13.6%	8.9%	11.5%	9.6%	13.4%	8.6%	11.5%	*70.3	*111.6	*82.5	
既往歴_脳卒中	3781	2.0%	3.0%	2.2%	2.5%	1.9%	3.0%	2.1%	2.5%	*61.6	87.4	*72.9	
既往歴_心臓病	3886	3.4%	4.6%	3.3%	4.2%	3.2%	4.4%	3.1%	4.2%	*71.9	102.7	*75.2	
既往歴_腎不全	3853	0.9%	0.4%	0.5%	0.6%	0.9%	0.4%	0.5%	0.6%	*209.1	*179.1	*143.3	
既往歴_貧血	3924	0.7%	4.3%	0.6%	3.6%	0.7%	4.2%	0.6%	3.6%	*15.7	105.3	*18.4	
喫煙	3891	31.1%	31.5%	32.7%	34.9%	31.6%	31.9%	33.2%	34.9%	99.7	95.6	*91.0	
20歳時体重から10kg以上増加	3874	50.2%	47.6%	47.6%	45.3%	50.2%	47.6%	47.6%	45.3%	*105.3	*105.5	*110.9	
1回30分以上の運動習慣なし	3813	63.5%	66.2%	63.4%	68.6%	63.9%	66.7%	63.6%	68.6%	96.5	100.4	*93.5	
1日1時間以上運動なし	3886	55.5%	56.0%	47.1%	53.6%	55.3%	56.2%	47.0%	53.6%	99.1	*118.3	*104.5	
歩行速度遅い	3883	47.8%	49.2%	51.6%	50.4%	47.7%	49.3%	51.5%	50.4%	97.3	*92.7	*94.9	
1年間で体重増減3kg以上	3868	22.8%	28.7%	20.5%	27.2%	23.2%	29.1%	20.9%	27.2%	*80.4	*110.9	*86.2	
食べる速度が速い	3857	39.2%	36.2%	37.2%	33.4%	39.6%	36.4%	37.7%	33.4%	*109.2	*105.2	*119.6	
食べる速度が普通	3856	54.0%	59.5%	57.5%	58.7%	53.5%	59.2%	57.3%	58.7%	*90.3	*94.1	*90.8	
食べる速度が遅い	3881	8.9%	6.9%	7.5%	6.7%	8.6%	6.9%	7.5%	6.7%	*128.3	*116.9	*130.8	
週3回以上就寝前夕食	3950	30.0%	28.2%	26.8%	27.8%	30.7%	28.7%	27.0%	27.8%	*107.8	*112.4	*110.9	
週3回以上夕食後間食	3882	17.2%	16.3%	16.9%	15.3%	18.0%	16.6%	17.3%	15.3%	107.6	102.1	*116.9	
週3回以上朝食を抜く	3864	18.7%	16.9%	15.8%	16.7%	19.9%	17.6%	16.9%	16.7%	*113.6	*118.6	*119.5	
毎日飲酒	3948	47.3%	43.2%	51.1%	46.1%	46.8%	43.0%	50.4%	46.1%	*108.1	*92.3	101.6	
時々飲酒	3841	20.2%	23.3%	20.9%	24.3%	20.4%	23.4%	21.2%	24.3%	*87.1	96.6	*84.6	
飲まない	3849	31.6%	33.0%	28.2%	30.0%	32.5%	33.4%	28.6%	30.0%	96.8	*112.6	*106.0	
1日飲酒量(1合未満)	3930	42.0%	43.1%	41.1%	39.5%	42.5%	43.1%	41.6%	39.5%	97.9	102.2	*106.5	
1日飲酒量(1～2合)	3853	21.6%	32.4%	23.8%	33.3%	21.1%	32.0%	23.6%	33.3%	*66.5	*90.6	*64.3	
1日飲酒量(2～3合)	3958	19.2%	17.5%	19.0%	19.3%	19.2%	17.5%	18.9%	19.3%	*109.5	100.7	98.7	
1日飲酒量(3合以上)	3917	17.7%	7.5%	17.0%	7.4%	17.8%	7.7%	17.1%	7.4%	*239.9	104.3	*251.6	
睡眠不足	3898	27.7%	26.9%	26.7%	26.9%	28.3%	27.2%	26.8%	26.9%	103.8	104.3	105.5	
改善意欲なし	3891	25.1%	28.8%	32.3%	32.3%	24.7%	28.6%	31.8%	32.3%	*86.2	*77.4	*77.1	
改善意欲あり	3952	45.2%	33.9%	43.8%	31.5%	46.4%	34.2%	44.6%	31.5%	*135.1	103.9	*146.8	
改善意欲ありかつ始めている	3912	7.7%	13.9%	6.3%	12.6%	7.9%	14.0%	6.4%	12.6%	*56.2	*123.1	*62.5	
取り組み済み6ヶ月未満	3870	6.3%	7.4%	4.8%	7.0%	6.5%	7.5%	4.9%	7.0%	*85.3	*130.7	90.3	
取り組み済み6ヶ月以上	3929	15.3%	16.1%	12.6%	14.6%	14.9%	15.9%	12.3%	14.6%	93.5	*120.2	101.3	
保健指導利用しない	3933	47.6%	56.3%	55.5%	57.5%	47.6%	56.2%	55.6%	57.5%	*84.5	*85.7	*82.8	

「標準化比」は「標準化死亡比SMR」と同じ計算方法で生活習慣等の要因該当者の割合を、年齢調整したうえで、各都道府県や国を基準とした比で表現したものです。「基準：県(=100)」は、県全体を100とした場合の各市区町村の該当割合を意味します。例えば、図では「食べる速度が速い」の標準化比は105.2ですから、県全体に比べて「食べる速度が速い」の割合が1.05倍高いと解釈できます。同様に、「基準：国(=100)」は、全国を100とした場合の各市区町村の該当割合を意味します。標準化該当比の値に*印がついているものは、統計学的に有意（たまたまではなく本当に高いと思われる）、*がついていないものは有意ではない（偶然変動の範囲かも知れない）ことを意味しますので、特に有意なものに注目して解釈してください。

[小地区別の比較]

市内の小地区間で年齢調整したうえで医療費を比較する場合には、小地区別に上記の集計を行ったうえで、「標準化比」で比較します。ただし、人数が少ない場合には無理に解釈しないでください。

全国健康保険協会（協会けんぽ）の場合、「全国健康保険協会特定健診・特定保健指導データ分析報告書」に、全国市区町村別分析が数値表と地図で掲載されています（図）。



国保だけでなく市民全体の生活習慣の状況を知りたい場合には、各県の保険者協議会等が協会けんぽや他保険者も合わせた分析を行っていることがあります。「地方自治体における生活習慣病関連の健康課題把握のための参考データ・ツール集」の「特定健診データを用いたリスク因子等の標準化比の市区町村別地図作成ツール」を用いると、複数保険者のデータを合わせて標準化比を計算し、地図を描くことが容易にできます（ただしデータは各保険者間で調整して用意する必要があります）。

（８） 集団の健康問題に大きな影響を与えている要因は何かを考えよう

肥満や多量飲酒等が高血圧に影響することはよく知られています。しかし、そもそも肥満や多量飲酒者が少しかいない集団では、肥満や多量飲酒対策に力を入れても、集団全体として高血圧は少ししか減りません。従って、高血圧対策を効率的・効果的に進めるためには、集団全体として高血圧に大きな影響を与えている要因を調べる必要があります。そのような視点から、[【事例 4】](#)の分析にも取り組んでみましょう。

（９） 以上の分析結果の全体像を、図に整理しよう

多くのデータを見てきましたが、以上の読み取り結果を[【手順 1-6】](#)のように整理することによって、地域の健康課題に関する全体像が見えやすくなります。

他にも様々な分析を加えて整理した図が、高知市データヘルス計画（平成 27 年 7 月作成）「KDB 等の分析をもとに考えた高知市の生活習慣病予防に係る活動」に示されています。

【手順 1-6】：地域の健康課題の全体像を整理する

● 情報源

[【手順 1-2】](#)～[【手順 1-5】](#)の結果。

● 基礎知識：（「巻末 基礎知識」参照）

[【手順 1-2】](#)～[【手順 1-5】](#)と同様。

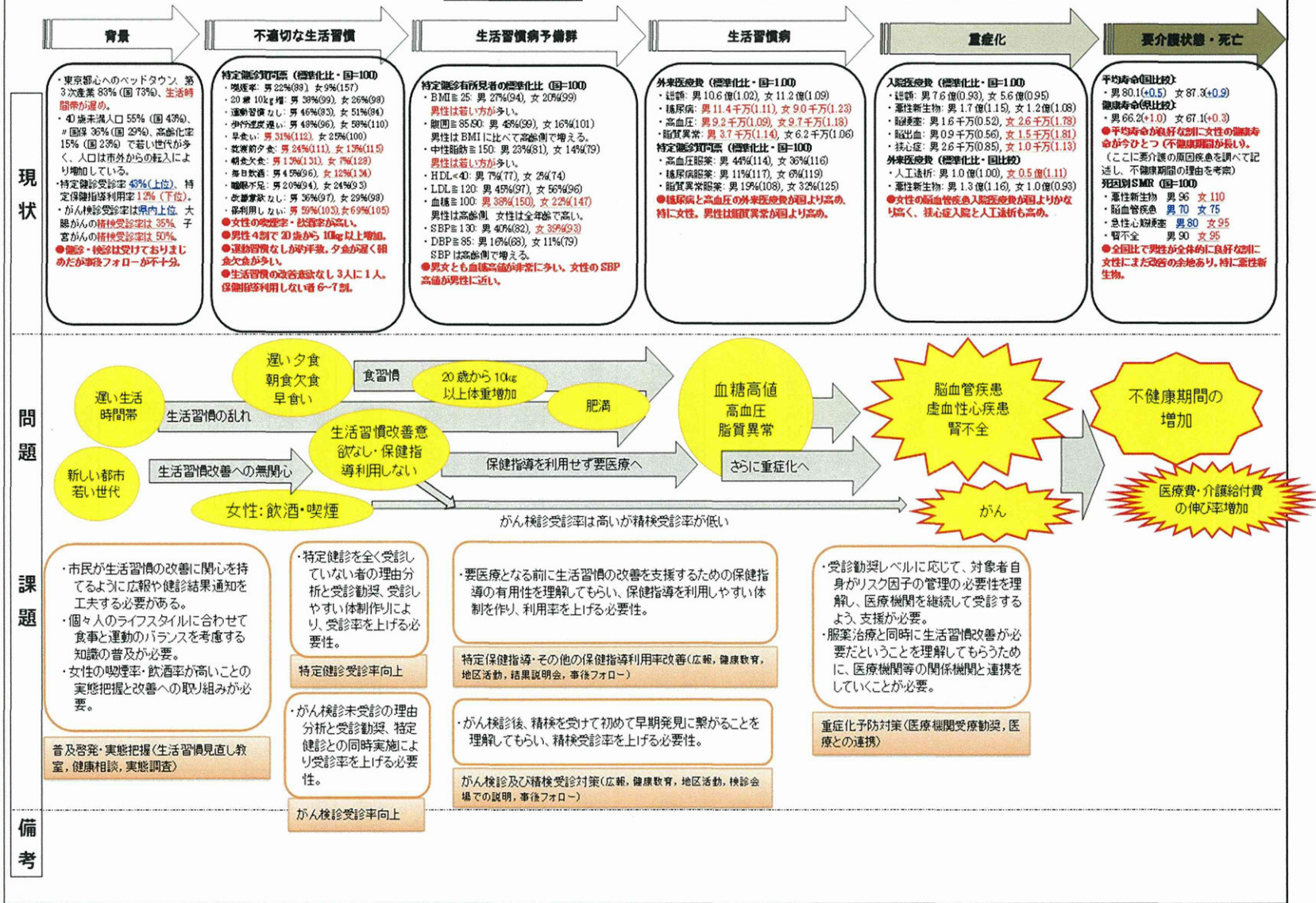
● 具体的手順

- 1) 地方自治体における生活習慣病関連の健康課題把握のための参考データ・ツール集 (<http://www.niph.go.jp/soshiki/07shougai/datakatsuyou/>) の「現状分析と課題設定ワークシート」を入手します（記入例も付いています）。
- 2) 上位の指標～下位の指標について、【手順 1-2】～【手順 1-5】の分析結果を、1) のワークシートに整理します。
- 3) 記入例を参考にして、「現状」の欄に、上位の指標から下位の指標（右から左）に向かって、健康問題を記入してください。「要介護状態・死亡」は（3）（5）、「重症化」は（4）のうち重篤な疾患（脳血管疾患、虚血性心疾患、人工透析など）の入院・外来医療費、「生活習慣病」は（4）のうち高血圧や糖尿病などのリスク因子の外来医療費、「生活習慣病予備群」は（6）、「不適切な生活習慣」は（7）に基づいて記入します。「背景」には、人口構成や産業構造など社会・文化的背景の特徴を記入します。全てを羅列するのではなく、特徴的なものだけにとどめ、重要なものを太字等で強調して記入すると分かりやすく整理できるでしょう。
- 4) 「現状」の欄が埋まったら、「問題」の欄に要点を整理して、矢印で相互関係が分かるようにしてください。
- 5) 「課題」の欄には、「問題」を解決するためになすべきことを記入してください。これには、体制の見直し、既存事業のプロセスやアウトカムの見直し、新規事業の立案等が含まれます。

【現状分析と課題設定ワークシート】

KDB 等の分析に基づく 市の生活習慣病対策のための現状分析と課題設定						
	背景	不適切な生活習慣	生活習慣病予備群	生活習慣病	重症化	要介護状態・死亡
現 状						
問 題						
課 題						
備 考						

KDB 等の分析に基づく サンプル市 の生活習慣病対策のための現状分析と課題設定



事例2：【小地域】地区診断の資料として、各小地区の状況、健康課題を把握する

1. 具体例

・市内の小地区（町丁目単位、中学校区など）で、高齢者がどのくらい多いのか、特定健診受診率に差があるのか、どんな病気に医療費がかかっているかなど、市内の小地区ごとの健康課題や特徴を把握し、健康格差の縮小の対策に役立てたい。

・年代別、性別等、地域のリスク因子（高血圧、脂質異常、血糖値やHbA1cなど）の特徴を把握したい。

2. 必要な作業

作業 順番	手順No.	分析する内容	手順掲載 ページ
1	2-1	地域（対象集団）の住民の性・年齢階級別人口の特徴を把握する。	33
2	2-2	小地区の定義（地区社会福祉協議会、自治会連合会、中学校区など）をする。	35
3	2-3	既存資料（e-Statで把握可能な資料：国勢調査（世帯数、世帯構成、高齢者割合、年収情報、医療機関、福祉施設、交通機関アクセスなど）を入手し、小地域ごとに把握する。	36
4	2-4	地域（対象集団）の疾患の特徴を特定健診データ、医療レセプトデータから把握する。	38
5	2-5	地域（対象集団）のリスク因子の特徴を特定健診データから把握する。	40
6	2-6	地域（対象集団）の生活習慣の特徴を特定健診データから把握する。	42
7	2-7	地域（対象集団）の医療の状況の特徴を医療レセプトデータから把握する。	43
8	2-8	地域（対象集団）の介護の状況の特徴を介護保険データから把握する。	46
9	2-9	要介護の原因疾患をKDB（併存疾患のみ）から確認する。	48
10	2-10	国保特定健診と高齢者健診の結果を連続的に把握する。	50
11	2-11	国保だけでなく健保等も含めて医療と健診データ等から市全体の状況を知る。	50
12	2-12	事業のターゲットを絞るため、性別・年代別・地域別・疾患別の特徴を調べる。	51
13	2-13	医療費・介護費・健診データの地区別での関係を把握する。	51

3. 読み解き手順

(1) 地域（対象集団）の住民の特徴を、既存資料を用いて把握しよう

まずは最も基本的な情報である地域（対象集団）の住民の性・年齢階級別人口の特徴を把握しましょう【手順 2-1】。対象集団の年齢構成、（前期・後期）高齢者数・率の把握はとても重要です。事業のターゲットを絞り込むうえでも大事です。

健診・医療・介護等の指標の平均値や比率などは、市（町村）内の各小地域で少しずつ（時にはかなり）異なり、市全体の値は各小地域の平均的な値になります。市内の地域別の分布や格差を知るために、指標が良いところ、悪いところを見える化するための小地域の定義をしましょう【手順 2-2】。自治体によって小地域の定義が異なると思いますが、KDB に登録した定義を活用して共通した小地域を決めれば、KDB のデータと併せて見るときに便利です。

既存資料として利用できる行政資料を e-Stat で把握しましょう【手順 2-3】。小地域ごとに把握できる資料とできない資料がありますので、確認してみましょう。

【手順 2-1】：地域（対象集団）の住民の性・年齢階級別人口の特徴を把握する

● 情報源

人口静態統計（国勢調査）

● 必要な指標・統計データ

人口静態に関する統計表には、人口の規模及び推移、地域分布、性・年齢等の基本的属性に関する統計が記載されています。国勢調査により、人口静態に関する統計を把握しています。大規模調査は 10 年ごとに実施されます（昭和 35 年（1960 年）、45 年（1970 年）、55 年（1980 年）、平成 2 年（1990 年）、12 年（2000 年）、22 年（2010 年）。簡易調査は中間年に実施されます（昭和 40 年（1965 年）、50 年（1975 年）、50 年（1985 年）、平成 7 年（1995 年）、17 年（2005 年）、27 年（2015 年））。

● 基礎知識：（「巻末 基礎知識」参照）

「e-Stat とは」

● 具体的手順

e-Stat（政府統計の総合窓口、総務省統計局）で、国勢調査⇒平成 22 年国勢調査⇒小地域集計をたどると、都道府県一覧の表示が出てくるので（出ない場合は をクリックする）、調べたい都道府県をクリックし、さらに「町丁・字等」の表名の統計ファイル（CSV 形式）を入手します（次図）。

e-Stat 政府統計の総合窓口

統計データを探す | 地図や図表で見る | 調査項目を調べる | 統計サイト検索・リンク集 | ログイン

統計データ検索結果

アンケート調査にご協力をお願いします。
 利用者のご意見を今後のサービスの充実化に反映させるため、アンケートをお願いしております。
[この統計の総合窓口\(e-Stat\)についてのアンケート](#)

検索結果を絞り込む場合は、絞り込み条件を選択してください。
 ・絞り込み条件を選択後、「絞り込む」リンクをクリックすると検索結果が絞り込まれます。
 ・検索キーワードを再入力し、再検索すると、絞り込み条件はリセットされます。
 ・パンくずリスト【検索結果トップページ】>【調査名】>【集計区分】で表示されている範囲内で再検索を行います。
 ・各行にある [Excel](#) [CSV](#) [PDF](#) [DB](#) のボタンを押すと該当データが表示されます。

キーワードで探す

検索条件: 国勢調査

検索結果

検索結果絞り込み条件

絞り込み条件: 国勢調査

検索結果

表示形式: 簡易(調査名>集計区分>表題)表示 | [表題一覧表示](#)

表番号	表名	実施年月	統計表ファイル			データベース	関連情報
			Excel	CSV	PDF		
1	[人口等基本集計に関する集計] 男女別人口及び世帯数 - 基本単位区	2010年		CSV			関連情報
	14101横浜市鶴見区～14117横浜市青葉区	2010年		CSV			
	14118横浜市都筑区～14204鎌倉市	2010年		CSV			
	14205横浜市～14402清川村	2010年		CSV			
2	[人口等基本集計に関する集計] 男女別人口及び世帯数 - 町丁・字等	2010年		CSV			関連情報
3	[人口等基本集計に関する集計] 年齢(5歳階級)、男女別人口(15年齢、平均年齢及び外国人—特掲)—町丁・字等	2010年		CSV			関連情報
4	[人口等基本集計に関する集計] 配偶関係(3区分)、男女別15歳以上人口 - 町丁・字等	2010年		CSV			関連情報

[人口等基本集計に関する集計]

年齢（5歳階級），男女別人口（総年齢，平均年齢及び外国人—特掲）—町丁・字等

平成22年国勢調査 小地域集計 (総務省統計局)

表番号	表名	実施年月	統計表ファイル	データベース	関連情報
1	平成22年国勢調査 小地域集計 (総務省統計局)				
2	第3表 年齢(5歳階級)、男女別人口(総年齢、平均年齢及び外国人—特掲)—町丁・字等				
5	年齢(5歳階級)、男女別人口(総年齢、平均年齢及び外国人—特掲)—町丁・字等				
7	市区町村二町丁字・地域識別処理 総務先情報合算地域 都道府県名 市区町村名				
8	14101 神奈川県 横浜市鶴見区				
9	14101 神奈川県 横浜市鶴見区 大黒町				
1154	1154 14108 310 2 神奈川県 横浜市金沢区 柳町				
1155	1155 14108 320 2 秘匿地域 330 神奈川県 横浜市金沢区 昭和町				
1156	1156 14108 330 2 台算地域あり 320 神奈川県 横浜市金沢区 島浜町				
1157	1157 14108 340 2 神奈川県 横浜市金沢区 並木				
1158	1158 14108 34001 3 神奈川県 横浜市金沢区 並木 一丁目				
1159	1159 14108 34002 3 神奈川県 横浜市金沢区 並木 二丁目				
1160	1160 14108 34003 3 神奈川県 横浜市金沢区 並木 三丁目				
1161	1161 14108 370 2 神奈川県 横浜市金沢区 幸浦				
1162	1162 14108 37001 3 神奈川県 横浜市金沢区 幸浦 一丁目				
1163	1163 14108 37002 3 神奈川県 横浜市金沢区 幸浦 二丁目				
1164	1164 14108 390 2 神奈川県 横浜市金沢区 大道				
1165	1165 14108 39001 3 神奈川県 横浜市金沢区 大道 一丁目				
1166	1166 14108 39002 3 神奈川県 横浜市金沢区 大道 二丁目				

平成22年国勢調査 小地域集計 (総務省統計局)

	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	AL	AM	AN	AO	AP
1																			
2																			
3																			
4	danjp.0000	danjp.0000	danjp.0000	danjp.0000	danjp.0000	danjp.0000	danjp.0000	danjp.0000	danjp.0000	danjp.0000	danjp.0000	danjp.0000	danjp.0000	danjp.0000	danjp.0000	danjp.0000	danjp.0000	danjp.0000	danjp.0000
5	to6-3.001	to6-3.001	to6-3.001	to6-3.001	to6-3.001	to6-3.001	to6-3.001	to6-3.001	to6-3.001	to6-3.002	to6-3.002	to6-3.002	to6-3.002	to6-3.002	to6-3.002	to6-3.002	to6-3.002	to6-3.002	to6-3.002
6																			
7	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95~99歳	100歳以上不詳	(再掲)15歳	(再掲)15歳	(再掲)65歳	(再掲)75歳	(再掲)85歳	総年齢	平均年齢	(再掲)65歳	(再掲)75歳
8	17274	19213	15729	12014	9569	6501	3416	1386	341	56	2144	35494	185528	49012	21269	5199	11367121	4259515	5621
9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1154	124	152	138	144	122	83	46	18	3	-	21	226	1320	554	272	67	96341	4637667	33
1155	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
1156	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	154	-	-	-	4830	3186364	60
1157	1808	2556	1898	1121	689	366	168	67	9	2	45	1976	13066	4320	1301	246	891010	4651849	317
1158	730	1089	886	583	349	202	79	40	5	-	34	814	5569	2143	674	124	402620	4772261	185
1159	827	901	631	358	229	102	56	15	2	-	8	523	4104	1392	408	73	265527	4793761	80
1160	451	566	381	180	113	62	33	12	2	2	3	639	3393	785	224	49	202863	4261397	52
1161	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1162	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1163	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1164	235	317	287	221	241	156	62	41	20	-	28	326	2189	1048	540	143	171340	4858869	48
1165	160	223	193	149	161	101	60	27	10	-	14	208	1417	701	359	97	113129	4913672	33
1166	75	94	94	72	80	55	22	14	10	-	14	118	772	347	181	46	58211	4755821	15
1167	267	319	334	365	283	152	76	31	4	-	17	428	2408	1245	546	111	194991	482202	24
1168	140	158	147	141	134	69	27	13	2	-	12	215	1187	533	245	42	90189	471063	14
1169	127	161	187	224	149	83	49	18	2	-	5	213	1221	712	301	69	104802	4933597	10
1170	367	543	644	501	383	190	87	37	5	1	9	696	3496	1848	703	130	288257	4822467	40
1171	167	263	306	213	159	59	32	14	2	-	4	279	1484	785	266	48	123142	4882869	13
1172	107	150	228	179	132	74	32	15	2	1	1	236	1069	663	256	50	95024	4879455	10
1173	93	130	110	108	92	57	23	8	1	-	4	181	943	400	161	32	70091	4649147	17
1174	-	1	4	2	3	-	-	-	-	-	-	9	107	12	6	-	3762	2989063	100
1175	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	-	-	-	2575	2625	100

「(再掲) 65 歳以上」を総数で割り算して「高齢者割合 (高齢化率、老年人口割合ともいう)」、
「(再掲) 75 歳以上」を総数で割り算して「後期高齢者割合」を計算することができます。

【手順 2-2】：小地区の定義 (地区社会福祉協議会、自治会連合会、中学校区など) をする

● 情報源

人口静態統計 (国勢調査)、KDB

● 必要な指標・統計データ

人口静態に関する統計表には、人口の規模及び推移、地域分布、性・年齢等の基本的属性に関する統計が記載されています。国勢調査により、人口静態に関する統計を把握しています。

国勢調査での小地域の単位は、市区町村の単位 (市区町村コード) と町丁・字等 (町丁字コード) で構成される単位となっていて、「〇〇市 (〇〇区) 〇〇町〇丁目」などの住居範囲です。

地区社会福祉協議会、地域包括支援センター、自治会連合会、中学校区などの範囲が、町丁・字等 (町丁字コード) の組み合わせで区切れる場合には、国勢調査の情報を編集することで、小地域ごとのデータを得ることができます。

注目したい小地区を入手可能なデータの単位を考慮してきます。健康増進計画や高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画などでは、地区社会福祉協議会など小地区単位での検討をしていることがありますので、その小地区単位に合わせると資料を入手しやすい可能性があります。

また KDB に登録した小地区の定義を用いれば、KDB システムをそのまま利用可能です。

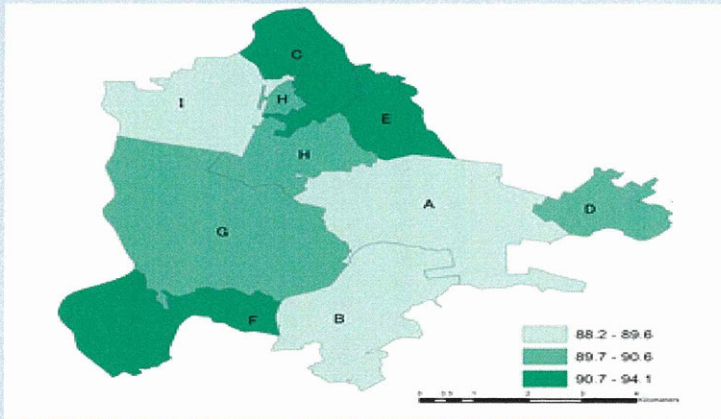
● 具体的手順

e-Stat (政府統計の総合窓口、総務省統計局) で、国勢調査⇒平成 22 年国勢調査⇒小地域集計をたどると、都道府県一覧の表示が出てくるので (出ない場合は をクリックする)、調べたい都道府県をクリックし、さらに「町丁・字等」の表名の統計ファイル (CSV 形式) を入手します。

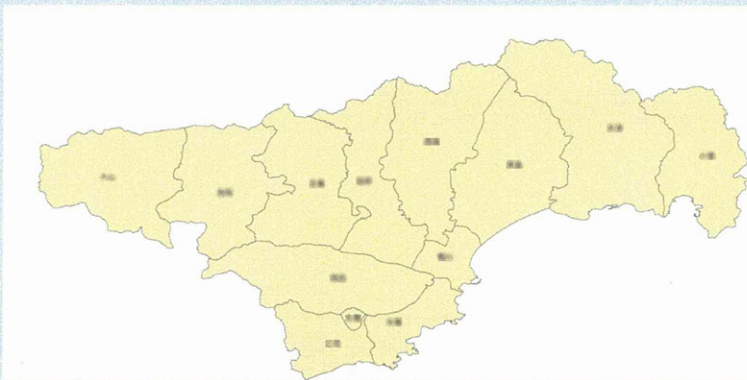
[人口等基本集計に関する集計]

年齢（5歳階級），男女別人口（総年齢，平均年齢及び外国人—特掲）—町丁・字など。
健康増進計画や高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画などで、支所ごとや地区社会福祉協議会ごとなどの小地区単位での検討をしているかどうかを確認します。

例1. A市における9支所ごとの小地区単位



例2. B市における12小学校区ごとの小地区単位



【手順 2-3】：既存資料（e-Stat で把握可能な資料：国勢調査（世帯数、世帯構成、高齢者割合、年収情報、医療機関、福祉施設、交通機関アクセスなど））を入手し、小地域ごとに把握する

●情報源

人口静態統計（国勢調査）、KDB、一般財団法人日本デジタル道路地図協会 <http://www.drm.jp/>

●必要な指標・統計データ

人口静態に関する統計表には、人口の規模及び推移，地域分布，性・年齢等の基本的属性に関する統計が記載されています。国勢調査により、人口静態に関する統計を把握しています。

国勢調査での小地域の単位は、市区町村の単位（市区町村コード）と町丁・字等（町丁字コード）で構成される単位となっていて、「○○市（○○区）○○町○丁目」などの住居範囲です。

地区社会福祉協議会、自治会連合会、地域包括支援センター、中学校区などの範囲が、町丁・字等（町丁字コード）の組み合わせで区切れる場合には、国勢調査の情報を編集することで、小地域ごとのデータを得ることができますが、そうでない場合には国勢調査の情報をを用いた編集は困難です。

<参考> 地図上に表記できるデジタル道路地図は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会(略称 D R M) <http://www.drm.jp/>にデータ貸与申込をすることができます(有料)。

●具体的手順

e-Stat(政府統計の総合窓口、総務省統計局)で、国勢調査⇒平成 22 年国勢調査⇒小地域集計をたどると、都道府県一覧の表示がでてくるので、調べたい都道府県をクリックし、さらに「町丁・字等」の表名の統計ファイル(CSV 形式)を入手します。

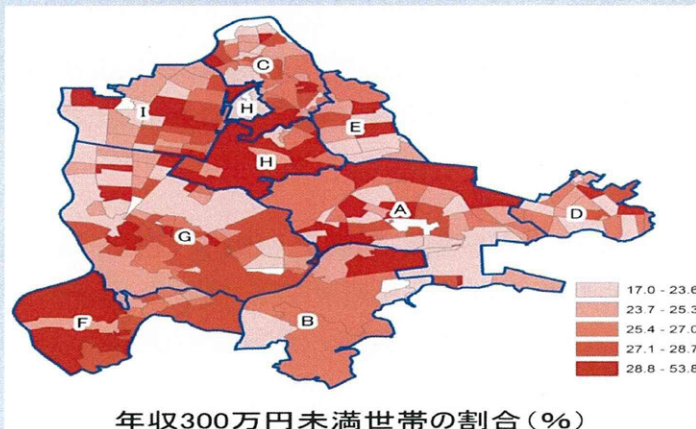
[人口等基本集計に関する集計]

年齢(5 歳階級)、男女別人口(総年齢、平均年齢及び外国人—特掲)—町丁・字平等。

健康増進計画や高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画などで、支所ごとや地区社会福祉協議会ごとなどの小地区単位での検討をしているかどうかを確認します。

<参考> 年収階級別世帯数推計データ(株式会社ゼンリンジオインテリジェンス)(有料)を利用すると世帯年収が 300 万円未満、700 万円以上の世帯の割合を知ることができます。

例 1. A 市における 9 支所ごとの世帯年収 300 万円未満の世帯の割合(%)



例 2. A 市における 9 支所ごとの世帯年収 700 万円以上の世帯の割合(%)

